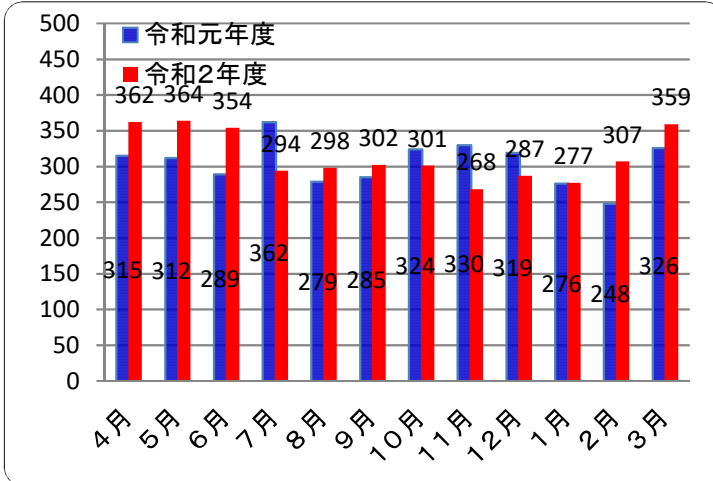


消費生活相談の概要

新潟市消費生活センター
令和2年度

相談件数



	令和元年度 (件数)	令和2年度 (件数)	対前年比 (%)
4～6月	916	1,080	117.9
7～9月	926	894	96.5
上半期計	1,842	1,974	107.2
10～12月	973	856	88.0
1～3月	850	943	110.9
下半期計	1,823	1,799	98.7
合計	3,665	3,773	102.9

令和2年度(4～3月)商品・役務別相談件数<相談合計 3,773 件>				
順位	商品・役務別	件数 (件)	割合 (%)	主な商品
1位	運輸・通信サービス	593	15.7	有料サイト、光回線、携帯電話サービス、出会い系サイト
2位	商品一般	432	11.4	架空請求の葉書やメール、覚えのない宅配荷物
3位	食料品	348	9.2	健康食品、菓子類、海産物、調理食品
4位	金融・保険サービス	324	8.6	消費者金融、生命・損害保険、クレジットカード
5位	保健衛生品	174	4.6	マスク、消毒液、化粧品
令和2年度(4～3月) 商品・役務別相談件数<上記のうち契約者65歳以上/合計 1,132件>				
順位	商品・役務別	件数 (件)	割合 (%)	主な商品
1位	運輸・通信サービス	175	15.5	光回線、携帯電話サービス、有料サイト、セキュリティソフト
2位	商品一般	148	13.1	架空請求のメール、覚えのない宅配荷物
3位	食料品	92	8.1	健康食品、海産物、菓子類、調理食品
4位	保健衛生費	74	6.5	マスク、消毒液、化粧品、医薬品
5位	金融・保険サービス	72	6.4	消費者金融、クレジットカード、生命保険

- 令和2年度の相談件数は3,773件で、前年度比108件(2.9%)増加しました。有料サイトや光回線などに関する相談や架空請求に関する相談が、それぞれ約150件減少しました。一方、保健衛生品のマスクなどに関する相談が増加しました。
- 相談内容では、有料サイトや携帯電話サービスなどの「運輸・通信サービス」が約600件と前年度同様最多となっています。また、架空請求のメールなども多く、特に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、注文した覚えがない商品が送られて来たという相談が多く寄せられました。
- 65歳以上の方の相談内容では、前年度同様の内容が上位を占めていますが、前年度と比較して約160件減少しました。しかし、依然として光回線の使用料が安くなると勧誘を受け契約したが、かえって高くなってしまったなどの相談が多く寄せられました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、マスク・消毒液などの購入や、旅行・スポーツクラブ・コンサートなどのキャンセル料についての相談が増加しました。

新潟市消費生活センター (相談専用) 025(228)8100